

# ～2024年度日本学生けん玉連盟 主催大会①～

第38回全日本学生けん玉選手権大会

第38回全日本けん玉新人王決定戦

第5回全日本年代別けん玉選手権

ハヤブサ杯・第27回全日本空中技けん玉選手権大会

**主催**：日本学生けん玉連盟

**後援**：公益社団法人日本けん玉協会、一般財団法人ハヤブサ財団

**日時**：2024年9月29日（日） 10時受付開始（9時30分開場）

**場所**：西成区民センター 会議室2-1

**参加費**：1大会出場ごとに1000円

**申込み**：当日申込み

## 前回からの変更点 ご確認ください。

- ①大会の参加費を、学生・社会人ともに「1大会出場ごとに1000円」に一律化しました。
  - ②「学連タイム競技」(別表5)を学生選手権と新人王の2大会のサドンデス一巡後に設けます。
  - ③「条件付きサドンデス」(別表3)の「そのまま」を廃止しました。
  - ④年代別選手権の予選通過のルールを前年度と同一とし、明記しました。
  - ⑤年代別選手権のトーナメント表作成ルールを明記しました。
- <空中技選手権について>
- ⑥種目提示の定義を「組み合わせは最大3つ、1つ目の技を空中技にすること」としました。
  - ⑦決勝Tの出場枠を16人に拡張し、一回戦と二回戦以降のルールをそれぞれ別に決めました。
  - ⑧固定種目も、1つの選技につき最大2回までの試技とします。
  - ⑨「条件付きサドンデス」一巡後は、「空中技タイム競技」(別表6)を行います。

## 第38回全日本学生けん玉選手権大会

### 参加資格

- ・大会当日現在、大学、短大、専門学校、大学院に籍をおく者。

### 試合形式

- ・予選  
別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位8名が決勝トーナメントに進出する。順位にタイがある場合は、年齢が高い方を上位とする。  
参加者が1名の場合も予選を実施し、20点以上で学生選手権優勝と認定する。  
なお、8位タイが複数名の場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。  
どちらかが成功し、もう一方が失敗し進出者が決定するまで実施する。  
サドンデスが一巡しても勝敗がつかない場合は、学連タイム競技(別表5)を行う。  
学連タイム競技は3名以上の場合でも、一度限りで一斉に行う。
- ・決勝トーナメント
  - ①6種目、3本先取勝ちとする。
  - ②1、2種目目は種目提示戦とする。（詳しくは、別記「種目提示戦」を参照。）
  - ③3本目以降は、1回戦は別表1、準決勝戦及び決勝戦は別表2の選技を抽選する。  
各選技は最大3回までの試技とし、片方のみが成功すれば1本とする。
  - ④2対2となり次第、あるいは6本終了時点で1対1の場合は、1回戦は別表1、準決勝戦以降は別表2の選技に別表3の条件を抽選して加えるサドンデスにて勝者を決定する。  
サドンデスで勝敗が決まらない場合は、**別表5（学連タイム競技）にて勝者を決定する。**
- ・団体戦  
同一の学校にて、2名以上参加した場合、予選得点が高い3名の合計得点で競う団体戦を実施。  
ただし、2名の場合は2名の合計とする。

# 第38回全日本けん玉新人王決定戦

## 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2024年9月28日）現在、日本けん玉協会認定段位が四段以下であること。
- ・日本けん玉協会主催大会において、以下の①～⑤の成績を満たさないこと。

- ①全日本選手権、JKA杯、JKA Jr.、全日本少年少女大会の予選通過
- ②もしかめ選手権において、4時間以上の記録
- ③クラス別選手権Bクラスで優勝、準優勝
- ④藤原一生杯等の世界大会で優勝、準優勝
- ⑤当連盟主催大会の下記7大会で優勝あるいは準優勝

※部門優勝は参加可能

（新人王決定戦、全日本学生選手権、全日本ユース選手権、学生・社会人対抗戦、全日本フリースタイル選手権、名人戦※2022年廃止、年代別選手権）

## 試合形式

### <1次予選>

別表1の選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、学生の部と社会人の部それぞれの部門で成功回数の多い5位タイまでの選手が、2次予選へ進出する。

各部門もしくは全体の参加者が1名の場合も予選を実施し、15点以上で優勝と認定する。

### <2次予選>

別表1の選技10種目を各種1回ずつ行い（10点満点）、成功回数の多い3位タイまでの選手が、部門別優勝決定戦へ進出する。

### <部門別優勝決定戦>

2次予選と同様の方式により、学生の部、社会人の部ごとの優勝を決定する。

しかし、決定しない場合は別表1の第1選技から順番にサドンデスを実施する。

※かつて行っていた、「部門別『準優勝』決定戦」は廃止しました。

ただし、**第10選技**でも勝者が決まらない場合は、**別表5（学連タイム競技）**により、優勝者ないし準優勝者を決定する。なお、各部門の優勝者は、全日本新人王優勝決定戦へ進出する。

### <全日本新人王優勝決定戦>

部門別優勝決定戦と同様の方式により、総合優勝者（全日本新人王）を決定する。

ただし、こちらに関しても上記サドンデス方法を実施した結果、優勝者が決まらない場合、同様に**別表5（学連タイム競技）**により決定する。

社会人新人王、学生新人王は本決定戦進出の時点で、参加資格⑤の優勝あるいは準優勝の成績を満たすので、両者は今後、新人王決定戦に出場することはできなくなる。

## 全日本新人王

例年通りであれば、2025年5月開催予定の「第47回全日本けん玉道選手権大会」のシードを得られる。 ※追って、優勝者にはシード権獲得有無の連絡予定

# 第5回全日本年代別けん玉選手権

## 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2024年9月28日）現在、日本けん玉協会認定段位が初段以上であること。

## 試合形式

### <予選>

- ・大会当日の満年齢により、10代・20代・30代・40代・50代・60代以上に分かれ、別表1の選技10種目のうち抽選で3種目を選技する。
- ・各種目1分間、合計3分間実施し、各年代の成功合計回数上位2名が決勝トーナメントに進出する。なお、同回数の場合は年齢が高いものが上位とする。同い年の場合は生年月日で年齢が高い方が上位。
- ・各年代上位2名を除いた残りの選手のうちから、予選の成功合計回数上位を予選通過とし、16名になるまで選抜する。同回数の場合は年齢が高い選手を上位とする。同い年の場合は生年月日で決まる。

### <決勝トーナメント>

- ・60代1位を全体1位、60代2位を全体2位・・・10代2位を全体12位としてトーナメントを表を作成するが、各年代の2位までがいなかった場合は全体順位を繰り上げていく。  
(例:60代の参加者が1名のみの場合は、50代1位を全体2位としてトーナメント表を作成。)
- ・1回戦・2回戦  
別表1の選技10種目のうち、抽選した選技を1分間行い、成功回数が多い方を勝ちとする。成功回数が同数の場合、別表1の残りの9種目のうちから抽選した選技を30秒間実施し、成功回数が多い方を勝ちとする。なお、それも同回数の場合は年齢が高い方(同い年なら生年月日)を勝ちとする。
- ・準決勝・決勝  
別表2の選技10種目のうち、抽選した選技を1分間行い、成功回数が多いものを勝ちとする。成功回数が同数の場合、別表2の残りの9種目のうちから抽選した選技を30秒間実施し、成功回数が多いものを勝ちとする。それも同回数の場合は、年齢が高い方(同い年なら生年月日)を勝ちとする。

# ハヤブサ杯・第27回全日本空中技けん玉選手権大会

## 参加資格

- ・中学生以上であること。
- ・大会前日（2024年9月28日）現在、日本けん玉協会認定段位が初段以上であること。

## 試合形式

### <予選>

- ・別表4選技10種目を各種3回ずつ行い（30点満点）、成功回数上位16名（同点の場合1回目の成功数が多い方が上位）とし、決勝トーナメントに進出する。
- ・なお、16位タイが複数名の時は別表4の第1選技から順番にサドンデスを実施する。  
サドンデスが一巡しても通過者が決まらなければ、別表6の「空中技タイム競技」を行う。
- ・予選で敗退した場合、決勝トーナメントの開始前に1種目、種目提示をする権利を得る。  
試技順は予選点数の低い選手からとし、提示した技が成功すれば提示種目賞にノミネート。

### <決勝トーナメント>

- ・1回戦
  - ① 4種目、2本先取勝ちとする。
  - ② 1, 2本目は種目提示、3, 4本目は別表4の選技制とし、いずれも試技は2回まで。  
※種目提示について組み合わせは最大3つ、1つ目の技を空中技にすること。  
※さらに詳しくは、別記「種目提示戦」を参照。
  - ③ 4種目終了後1対1の場合、別表4の選技に別表3の条件を抽選し、その条件を加えたかたちによる、第10選技までのサドンデスにて勝者を決定する。  
それでも決定しない場合は、別表6の「空中技タイム競技」の早い方を勝者とする。
- ・2回戦以降
  - ① 6種目、3本先取勝ちとする。
  - ② 1, 2本目は種目提示、3～6本目は別表4の選技制とし、いずれも試技は2回まで。
  - ③ 2-2になり次第、もしくは6種目終了後1対1の場合、上記④と同様の方法で勝者を決定。

# 種目提示戦

## <提示種目の定義>

- ①既存の技でも、新たに考案した技でもよい。
- ②大会中に自身が提示した技は1回限りとする。(他者が提示した技は提示可能)
- ③複数の技(同一含む)を組み合わせてすることはよい。ただし、最大5つとすること。  
また、宇宙一周のように1つの技と成立されている連続技は、1つとして数える。  
※空中技に限り、**組み合わせは最大3つ、1つ目の技を空中技にすること。**  
(空中技とはけん玉が手から完全に離れ、その際に玉がけん玉にささっていないこと)
- ④提示種目者は1分以内、対戦者は3分以内に試技を終えること。
- ⑤提示種目者は事前に種目名を宣告する。また、対戦者ないし審判がわからない場合は技の説明も行うこと。また、対戦者の同意を得れば、模範演技を可能とする。
- ⑥使用けん玉は1試合1本とする。
- ⑦けん玉の形状を著しく変化させたり、自分のけん玉でしかできない技は不可とする。  
また、けん玉の形態を変える必要がある技(糸をはずす等)は不可とする。
- ⑧公序良俗に反する技は不可とする(技名も含む)。
- ⑨身体的要素を取り入れた技は、主催者もしくは審判団判断で不可とする場合がある。

## <最優秀提示種目賞>

- ①提示種目の中で「独創性」や「高難度」など、秀でた技には最優秀提示種目賞を授与する。
- ②提示者が成功した技の中から選考される。ただし、「該当なし」の場合もある。

<大会別まとめ>	学生選手権	フリースタイル	空中技
組み合わせの最大	5つ	5つ	3つ
組み合わせのルール			1つめが空中技
初戦の提示機会	1回	2回(0-3の場合でも実施可)	1回
1大会の最多提示機会	3回 (1回×3試合)	8回 (2回×4試合)	4回 (1回×4試合)
同点で終える場合	別表1か2の条件付きS のち、別表5タイム競技	別表2の条件付きS のち、別表2タイム競技	別表4の条件付きS のち、別表6タイム競技

## 選技内容

別表 1	別表 2	別表 3 (条件)	別表 4	別表 5 (学連タイム競技)
1 宇宙一周	1 二回転飛行機	1 片足立ち	1 掛け軸返しとめけん	とめけん × 3
2 けん先すべり～地球まわし	2 つるし一回転飛行機～はねけん	2 二回連続	2 宇宙遊泳	飛行機 × 3
3 つるしとめけん	3 うぐいすの谷渡り	3 椅子に座って	3 うずしお灯台	ふりけん × 3
4 うらふりけん	4 つるし一回転灯台～とんぼ返り T:(～さか落とし)		4 円月殺法	世界一周 × 3
5 さかおとし	5 宇宙一周～地球まわし		5 つるし一回転飛行機	
6 うぐいす～けん	6 ろうそく返し		6 ろうそく返し	別表 6 (空中技タイム競技)
7 一回転飛行機	7 二回転灯台/T:(～さか落とし)		7 大皿～回転落としけん※手のせ大皿可	1 掛け軸返しとめけん
8 ふりけん～世界一周	8 宇宙遊泳		8 宇宙遊泳返し	2 宇宙遊泳
9 はねけん	9 すべり止め極意/T:太陽極意～けん		9 ろうそくうらふりけん	3 うずしお灯台～さか落とし
10 一回転灯台	10 円月殺法		10 ふりけんつむじ風	4 円月殺法

- 別表 5 タイム競技に関しては、
- ・ 4 種目を各 3 回ずつ成功させる。技の順序は規定しない。
  - ・ 3 回成功する前に他の種目を行った場合、前の種目に限って成功回数を無効(0回)とする。
  - ・ タイム競技開始前に、審判に最終種目を伝えること。
  - ・ 審判の「かまえ、はじめ」の合図で競技を開始し、先に終了した選手を勝ちとする。
- 別表 6 の 3 「うずしお」は 3 回以上とする。

それぞれの技については「けん玉の技 1 2 3」や過去の日本けん玉協会主催大会による競技ルールを参照すること。

# 条件付きサドンデス

- ①該当する別表選技を第1選技から順番に実施する。
  - ②別表3の条件を抽選する。
  - ③第10選技終了時、勝者が決定していない場合は再度抽選せず、タイム競技を実施する。
- ※タイム競技は、学生選手権と新人王は学連T、空中技は空中技T、その他は別表1・2のT。  
～注意点～

- 1番「片足立ち」については、技の開始から審判の合図があるまで片足であること。
- 2番「2回連続」については、審判の一回目成功の合図確認後手でおろし、二回目を開始すること。

## 使用けん玉

- ・日本けん玉協会認定の競技用けん玉を予選では1本、決勝では1本とすること。
- ・けん玉の長さは15cm以上、摩耗1cm以下であること。
- ・玉の穴は原形を保持していると認められること。
- ・特殊な加工（切り込み、やすりがけ、着色等）を施していないこと。
- ・糸の長さは自由とする。
- ・その他、主催者の判断により、使用の可否を決定することがある。

## 連絡先

- ・ご不明点等あれば、E-MAIL (t.tsu291@gmail.com) までご連絡ください。
- ・また、公式X (旧twitter) やfacebookにおける「日本学生けん玉連盟」で検索。

## アクセス



所在地：〒557-0041 大阪府大阪市西成区岸里1丁目1-50

### 公共交通機関

- ・Osaka Metro四つ橋線『岸里』駅下車 2番出口すぐ(区役所の東隣)
- ・Osaka Metro堺筋線・南海本線・南海高野線『天下茶屋駅』下車 西出口南へ徒歩5分

# 参考 今回の大会(2024年9月29日)の早見表

	学生選手権	新人王	年代別	空中技
予選	30点満点 別表1 新人王と同時実施	30点満点 別表1 学生選手権と 同時実施	別表1から抽選 3つの技を1分 間ずつ	30点満点 別表4
予選通過人数	8人 ※参加者1名の場合は 20点以上で優勝	学生、社会人それ ぞれ5人ずつ ※部門ごともしくは は全体の参加者が 1名の場合は、15 点以上で優勝	16人	16人
同点の場合の 順位の決め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目の回数が多い方が上位</li> <li>・予選通過最下位以外は、生年月日で年齢が高い方が上位。</li> </ul>	「～位タイ」として扱う	年齢が高い方が上。同い年なら生年月日で判断。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目の回数が多い方が上位</li> <li>・予選通過最下位以外は、生年月日で年齢が高い方が上位。</li> </ul>
予選通過最下位(8位・16位)に複数人並んだ場合の決定戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表1のサドンデス</li> <li>・一巡しても決まらなければ、別表5の学連タイム競技 3人以上いても一度限りの学連タイム競技で順位を決める</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・決定戦なし</li> <li>・年齢が高い方が上位</li> <li>・同い年なら生年月日で判断。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表4のサドンデス</li> <li>・一巡しても決まらなければ、別表6の空中技タイム競技</li> </ul>
トーナメント 1、2回戦	種目提示2種目 別表1で4種目		別表1から抽選 1分間実施	(1回戦のみ) 種目提示2種目 別表4で2種目
トーナメント 準決勝以降	種目提示2種目 別表2で4種目		別表2から抽選 1分間実施	(2回戦以降) 種目提示2種目 別表4で4種目
全種目終了 時点で同点の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表1か2の条件付きサドンデス</li> <li>・一巡しても勝敗が決まらなければ、別表5の学連タイム競技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別優勝決定戦以降は、別表1のサドンデス。</li> <li>・一巡しても決まらなければ、別表5の学連タイム競技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表1か2の残りの9種目から抽選</li> <li>・30秒間実施</li> <li>・それでも同点の場合は年齢が高い方を勝ちとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別表4の条件付きサドンデス</li> <li>・一巡しても勝敗が決まらなければ、別表6タイム競技</li> </ul>